

かてい学しゅうのてびき(2年生)

はじめ 始める前に

- ◇学校からのお手がみなどを、おうちの人に わたしましょう。
- ◇つくえの上や、まわりを せいとんしましょう。
- ◇テレビをけして、しずかにしましょう。

言われたことをこなすだけの家庭学習から、自律的に取り組み、**学力と、自分で学習する力を身に付ける家庭学習**への転換を図っていくための手引きです。

令和4年度 長崎市立小江原小学校

保護者の皆様



1 自律的な家庭学習

① 家庭学習を始める前に

- 学校からの配布物を確認する。
(直接受け取れない場合は、出す場所を決めておく)
- 学習する場所の整頓をする。
- テレビなどを消し、静かな環境にする。

② 家庭学習の手順(けてぶれ学習)

- (1) 何に取り組むか決める (計画)
- (2) できるかどうか確かめる (テスト)
- (3) 間違ったところを調べる (分析)
- (4) 身につくように練習する (練習)

2 家庭学習における保護者の役割

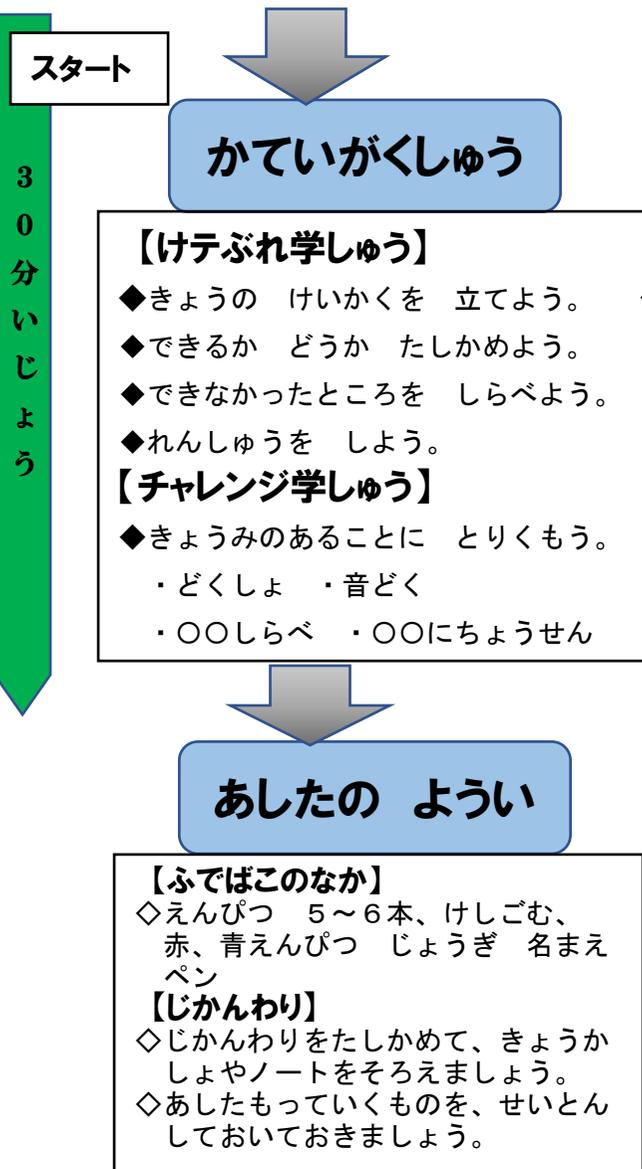
① 毎日机に向かう習慣づくり

② 学ぶための静かな環境づくり

③ 見守り、目を通し、励ます

④ 気になることは、担任に知らせる

では、かてい学しゅうを 始めましょう!



かてい学しゅうようノートをよういしよう!

【計画】けいかく

- 学校の学しゅうで むずかしかったこと、おぼえたいこと、じょうずになりたいことなどのなかから、することやがんばることをきめて書く。(じぶんできめられないときは、せん生から、することをいわれることもあります。)

- ・さんすうのけいさん ・ひらがなやかん字をかくこと ・おんどく など

【テスト】テスト

- じぶんで もんだいをして まるつけをして、できるかどうかたしかめる。

【分析】ぶんせき

- まちがえたところや よくできなかったところをしらべて、おもったことをかく。

【練習】れんしゅう

- できるようになるためにれんしゅうする
- ・にている もんだいをする。
- ・まちがった字を 正しく かく。
- ・すらすらよめるように なんどもよむ。など

